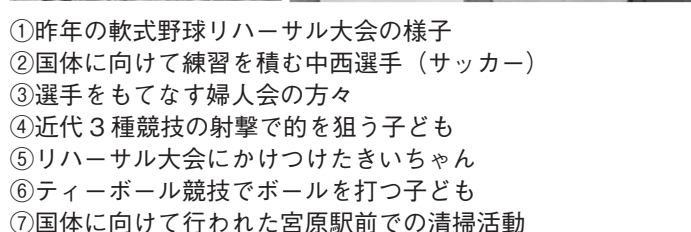


みんな

で盛り上げる まちが盛り上がる

いよいよ紀の国わかやま国体が始まります。試合で全力を尽くす人・応援する人・お客様を案内する人・ごみを拾う人・笑顔であいさつをする人などたくさんの人たちによって支えられているこのビッグイベント。さあ、スポーツの祭典へ。みんなで盛り上げていきましょう！



①昨年の軟式野球リハーサル大会の様子
②国体に向けて練習を積む中西選手（サッカー）
③選手をもてなす婦人会の方々
④近代3種競技の射撃で的を狙う子ども
⑤リハーサル大会にかけつけたきいちゃん
⑥ティール競技でボールを打つ子ども
⑦国体に向けて行われた宮原駅前での清掃活動

国体には選手はもちろん、さまざまな形で多くの人が関わっています。今回は、大会の運営をされている脇村さん、大会当日飲食物の提供をされる上田さん、そして女子サッカーの監督兼選手として出場される中西さんにお話をうかがいました。

●運営●

昭和46年の黒潮国体の時にバレーボールの審判や県外競技役員さんのお世話をしていました。あの当時は高度経済成長期でもあり、まち全体がにぎやかでした。近年の国体は簡素化され、主に接遇などのソフト面に力が入られているように感じます。

以前千葉国体の時に受けたおもしろい話は今でも忘れられません。駅に降りたら案内の人がおり、何を聞いてもしつかり答えてくれました。その他の人たちも同様で、まち全体で国体に関心を持っている様子であり、迎える側の意識の高さに驚きました。やはり接する気持ちが一番大事なんだと思います。当市も地域全体でもてなしていますが、まだまだです。今国体のスローガンにもある「躍動・歓喜・絆」をもつことで、市民総参加で県外の人たちをおもてなしませんか。



和歌山県国体実行委員
有田市体育協会
会長 脇村 建さん

●おもひなし●



有田市婦人団体連絡協議会
会長 上田 恵子さん

昨年の軟式野球のリハーサル大会の時に、ハモ団子汁を作って、選手や大会関係者などにふるまいました。「おいしいよ」「おかわり」と言ってくれたり、うれしかったです。黒潮国体の時には、お客様を迎えるために花を植える活動をしました。あの時はみんな一体となって盛り上がった雰囲気でした。今回も、多くのお客様が訪れると思います。有田のいいところをPRするチャンスなので「有田はいいところだったな」「また来たいな」と思ってもらえるように地域の皆さんと力を合わせて一杯おもてなししたいと思います。



ハモ団子汁をつくる
婦人会の皆さん

●監督・選手●



女子サッカー監督兼選手
中西 朋子さん
(宮原小学校教諭)

— 普段の大会と国体とのちがいはありますか？
以前広島でサッカーをしていた時に高知国体に出場しました。国体はまち全体で盛り上がり、お祭りの雰囲気がありました。普段はサッカーを見ないような人も観客として来てくださり、たくさんの方の応援をもらいました。

— 今回地元である和歌山で国体が開催されるにあたってどんな気持ちですか？
普段の大会と国体とのちがいはありますか？

●国体インフォメーション

●紀の国わかやま国体・大会期間中のマイカー自粛のお願い

大会期間中は、各競技会場周辺や閉会式の会場となる「紀三井寺公園」周辺で交通渋滞が予想されるため、マイカー利用の自粛にご協力をお願いいたします。また、開閉会式会場の周辺道路にて交通規制を実施します。

紀の国わかやま国体
9月26日(土)～10月6日(火)
紀の国わかやま大会
10月24日(土)～10月26日(月)

●有田市の今後の予定

デモンストラティブスポーツティーボール
日時／9月13日(日) 午前9時～
場所／ふるさと川総合公園
※箕島中学校グラウンドに変更になる場合があります。

軟式野球大会
日時／10月2日(金) 午前8時～
場所／マッペン有田球場



生徒からの応援メッセージ
が書かれたプラントー